

経営健全化方針に基づく取組状況（令和 7 年度）

1 法人名

公益社団法人島根県林業公社

2 経営健全化方針を策定した理由

平成 29 年度末において、損失補償額の標準財政規模に対する割合が 6.69%となり、実質赤字比率の早期健全化基準である 3.75%を上回ったため

3 財政的リスクの状況

（単位：百万円、%）

項 目	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額
損失補償額（A）	15,657	15,021	14,368	13,748
標準財政規模（B）	277,976	276,422	279,820	283,489
（A）／（B）	5.63	5.43	5.13	4.85

4 主な取組状況（令和 7 年度）

（1）森林整備事業

○収穫事業

- ・収穫事業を積極的に実施する事業体と林業公社が連携しながら原木増産に取り組む「公社収穫事業に係る専門班制度」を令和 2 年度に設け、これまでに県内 27 事業体と「5 カ年の事業計画」を策定し、着実な生産体制を整えた。
- ・収穫事業は区域面積 231ha（伐採面積 86ha）を完了（目標：区域面積 222ha）。38,116 m³の原木を生産。

○保育事業（搬出間伐）

- ・28ha の搬出間伐を実施し、870 m³の原木を生産。（目標：9,900 m³）
- ・公社事業地の多くが収穫期を迎えつつあり、間伐は徐々に減少する見込み。

○林業専用道開設

- ・9,101m（10 路線）の開設に着手し、5,437m（6 路線）を完了。（目標：5,500m）

（2）不成績林処理事業

12 団地 50ha に係る公庫借入金 38,712 千円の繰上償還を実施。

（3）長伐期契約変更事業

2 団地の変更契約手続きを完了。

(4) 高性能林業機械貸付事業

- ・県の「林業公社貸付機械導入支援事業費補助金」を活用し、収穫事業に取り組む林業事業体に対し、高性能林業機械を貸し付ける事業を令和4～6年度に実施。
- ・14事業体に14台の高性能林業機械を貸付することで、林業事業体の機械導入の負担を軽減するとともに、効率的かつ着実に収穫事業を推進。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位:千円、%)

項 目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 決算額
資産合計	83,477,163	83,976,213	83,917,401	84,007,659
流動資産	720,783	850,957	812,726	972,054
固定資産	82,756,379	83,125,257	83,104,675	83,035,605
(うち森林資産)	82,089,046	82,100,932	82,081,799	82,149,404
負債合計	61,620,056	61,884,418	62,009,363	62,264,003
(うち県からの借入金)	39,294,026	40,072,087	40,864,367	41,698,381
正味財産合計	21,857,106	22,091,796	21,908,038	21,743,656

(正味財産増減計算書から)

(単位:千円、%)

項 目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	令和7年度 決算額
経常増減額	△14,751	△13,517	△87,289	△35,678
経常収益	455,455	617,679	779,978	772,762
経常費用	1,030,554	1,190,556	1,415,262	1,520,196
森林資産勘定振替額※	560,348	559,360	547,995	711,757
経常外増減額	△206,500	△205,838	△187,719	△215,677
経常外収益	148,911	136,099	150,703	192,195
経常外費用	355,411	341,936	338,422	407,871
正味財産増減	△221,250	△219,355	△275,008	△251,355

※森林資産勘定振替額

森林資産取得原価(当該年度の森林整備に要した費用からその森林整備に係る収入を差し引いた価額)として、貸借対照表の森林資産に計上する。(林業公社会計基準)